

# 碧南市地域農業再生協議会 次第

日時 令和 8 年 1 月 2 3 日（金）

午後 2 時 1 5 分から午後 3 時まで

場所 碧南市役所 7 階 議員大会議室

## 1 あいさつ

## 2 議事録署名人選任

## 3 議事

(1) 第 1 号議案 令和 7 年度水田農業対策の実施状況について

(2) 第 2 号議案 令和 8 年度水田農業対策の取組について

## 4 その他

# 令和7年度 碧南市地域農業再生協議会会員名簿

令和7年8月1日現在

整理  
番号

役 職	氏 名	所 属 職 名
1 会長	小池 友妃子	碧南市長
2 副会長	神谷 昌明	碧南市農業委員会会長
3 会員	山中 力四郎	碧南市農業委員会委員
4 会員	市古 昭子	碧南市農業委員会委員
5 会員	黒田 実	碧南市農業委員会委員
6 会員	長谷部 実	碧南市土地改良区理事(碧南市農業委員会委員)
7 会員	藤浦 利吉	碧南市農業委員会委員
8 会員	近藤 正孝	碧南市農業委員会委員
9 会員	金子 さか江	碧南市農業委員会委員
10 会員	三島 孝二	碧南市農業委員会委員
11 会員	石川 清勝	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
12 会員	藤関 弘之	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
13 会員	永井 是充	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
14 会員	新美 康弘	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
15 会員	金原 節子	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
16 会員	加藤 浩孝	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
17 会員	下島 良一	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
18 会員	杉浦 孝明	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員 (JAあいち中央営農部会代表・愛知県農業共済組合)
19 会員	磯貝 孝弘	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
20 会員	山中 光弘	JAあいち中央営農部会代表
21 会員	鈴木 良樹	JAあいち中央営農部会代表
22 会員	野村 勝己	JAあいち中央営農企画部部长
23 会員	杉浦 英樹	碧南市経済環境部長(碧南市地域担い手育成総合支援協議会会員)
24 監事	永坂 邦男	碧南市農業委員会副会長
25 監事	原田 孝司	JAあいち中央碧南地区担当理事(碧南市農業委員会委員・JAあいち中央営農部会代表・農地利用集積円滑化団体)

## オブザーバー

	岩倉 則和	東海農政局地方参事官室総括農政推進官
	中神 弘雅	東海農政局経営所得安定対策窓口行政専門員

## 事務局

26 事務局長	亀島 弘樹	碧南市経済環境部農業水産課長
27 支局長	石川 浩義	JAあいち中央営農部碧南営農センター長
28 事務局	齋藤 静絵	碧南市経済環境部農業水産課課長補佐
29	白井 寛人	碧南市経済環境部農業水産課農政振興係主事

第 1 号議案

令和 7 年度水田農業対策の実施状況について

令和 8 年 1 月 1 日現在

米の生産数量目標の目安 A :	324.0	ha	(注)
-----------------	-------	----	-----

(注) 令和 7 年産米の生産数量目標の目安については、県協議会から示された生産数量目標の目安 1, 6 6 4 t を 1 0 a あたりの配分基準単収 5 1 5 k g で除して算出した値である。

(単位 : ha)

水稲作付率 % C/A=B	水稲作付面積 C	生 産 調 整 の 実 施 状 況						水田面積 C+H=I
		小麦・大豆等の作付				その他作付 G	水稲以外作物作付等計 F+G=H	
		市内 D	市外 E	市外内訳	計 D+E=F			
93. 15	301. 8	小麦・大豆	17. 5	西尾市 9. 6	102. 1	25. 1	127. 2	429. 0
				安城市 7. 3				
		84. 6 (91. 1)		高浜市 0. 6				

(注) ( ) 内の数値は入作を含む集団全体の面積。

(上記の表を㎡換算)								
水稲作付面積 3,018,142	小麦・大豆	174,619	西尾市 96,207	1,020,742	251,381	1,272,123	4,290,265	
			安城市 72,586					
	846,123 (910,810)		高浜市 5,826					

水田面積に対する生産調整率（転作率） H/I

29.64%

令和7年度経営所得安定対策事業における交付申請状況について

1 畑作物の直接支払交付金

	申請者数(人)		申請面積(ha)		交付金額(円)	
	オペレーター	オペレーター以外	小麦	大豆		
R06	4	0	75.7	76.0	37,814,699	※R06は高温障害等の影響で収量が低下した。
R07	4	0	72.7	72.6	43,104,970	

※R07については、1月時点では大豆の数量払交付金はまだ支払されていないため、交付金額より除く。

2 水田活用の直接支払交付金

	申請者数		申請面積(ha)		交付金額(円)
	オペレーター	オペレーター以外	小麦	大豆	
R06	4	0	75.7	76.0	26,600,000
R07	4	0	72.7	72.6	25,504,500

※二毛作助成は水田収益力強化ビジョンに基づき、産地交付金から助成される。  
 ※1月時点では産地交付金はまだ支払されていないため、交付金額より除く。

3 令和7年度転作協力金支払予定

作付けの内容	対象者数		交付金額の内訳		交付単価(10a)	
	耕作地権者	面積(m <sup>2</sup> )	耕作地権者	オペレーター	耕作地権者	オペレーター
小麦又は大豆のみ	2	2,536	55,792	50,258	22,000	19,818
小麦及び大豆(又は飼料用米)の二毛作	116	944,265	25,495,155	23,434,769	27,000	24,818
合計	118	946,801	25,550,947	23,485,027	-	-
小麦又は大豆のみ	2	3,213	70,686	69,841	22,000	21,737
小麦及び大豆(又は飼料用米)の二毛作	128	907,597	24,505,119	26,081,615	27,000	28,737
合計	130	910,810	24,575,805	26,151,456	-	-

※令和6年度の対象者数について、一毛作と二毛作重複者2名あり。

## 第2号議案

### 令和8年度水田農業対策の取組について

#### 1 愛知県における令和8年産米の生産面積目標の目安の設定方針

##### (1) 生産面積目標の目安の考え方

令和8年産米の生産面積目標の目安は、地域が需要に応じた米の生産を主体的に行うための判断材料として示すものとする。

##### (2) 愛知県の生産面積目標の目安の設定方針

以下①～③を加味して主食用米の生産面積目標の目安を設定する。

- ① 稲、麦、大豆の需要に応えるために導入され、本県が推奨している、2年3作体系（ブロックローテーション）などの生産体制を継続する。
- ② 飼料用米、加工用米等を需要に応じて可能な限り確保する。
- ③ 生産面積目標の目安は、国の需要に応じた増産方針を踏まえ、国が公表した作付意向調査（6月末時点）の主食用米の作付面積である25,614haを上回るものとする。

##### (3) 市町村別の生産数量目標の目安の設定方法（別紙）

市町村別の生産面積目標の目安は、2025年産の市町村別の生産数量目標の目安の面積換算値の県内占有率に基づき按分して算出する。

##### (4) 地域農業再生協議会別の生産数量目標の目安の設定方法

市町村別の生産面積目標の目安を、地域農業再生協議会別の生産面積目標の目安とする。

##### (5) 補足事項

- ① 本県の水田農業については、主食用米に限らず、他用途米や麦大豆についても畜産業等の意向を踏まえ、可能な限り需要に応じた生産を行う。
- ② 水稻の増産については、適切な肥培管理による品質の向上、多収性品種の導入等、多収を実現する取組が必要である。

## 2026（令和8）年産米の生産目標の目安について 一国の需給見通し（令和7年10月31日策定）を踏まえて一

### 1 生産目標の設定方針・・・参考

#### (1) 国の需給見通しに基づく需要量及び生産量の推計

- ・令和7年10月31日に国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において、令和8年産主食用米の生産量が需要量の上位値(711万トン)と設定されたことに基づき、愛知県の主食用米の需要量及び生産量を推計。
- ・令和8/9年の愛知県の主食用米の需要量は、  
 127,547～130,510（中央値 129,029）玄米トン と推計。
- ・生産量は、上記需要量（推計値）の範囲内と設定。

#### (2) 生産目標設定の基本方針

- ① 稲、麦、大豆の需要に応えるために導入され、本県が推奨している、2年3作体系（ブロックローテーション）などの生産体制を継続。
- ② 飼料用米、加工用米等を需要に応じて可能な限り確保。

#### (3) 生産目標の目安の設定

- ・(2)の基本方針①にあるブロックローテーションにおける麦・大豆の作付けは、面積で決定されている。
- ・これを受けて、水稻も作付面積で示す方が生産者が作付計画の判断がしやすいことから、(1)で推計した数量を作付面積に換算。  
 25,705～26,302（中央値 26,003）ha
- ・(2)の基本方針②を考慮して9月に示した生産目標の目安(面積)である26,000haは、推計した作付面積の範囲内（ほぼ中央値）。



2026（令和8）年産米の生産目標の目安(面積)は変更しない

### 2 地域農業再生協議会別生産目標の目安（面積）の設定・・・別添

- ・令和7年9月19日付け7愛再協（生）第5号で通知した目安から変更なし。

生産目標の設定方針について

○ 全国及び愛知県の主食用米等の需給見通し（試算）

令和7／8年		全国 万トン（玄米）	愛知県 トン（玄米）
	令和7年6月末民間在庫量	A	155
	令和7年産主食用米等生産量	B=C+D	748
	うち生産者ふるい目幅以上	C	715
	うち生産者ふるい目幅未満のうち、 主食用米への供給見込量	D	32
	令和7／8年政府備蓄米供給数量	E	23
	令和7／8年主食用米等供給量計	F=A+B+E	926
	令和7／8年主食用米等需要量	G	697～711
	令和8年6月末民間在庫量	H=F-G	215～229
令和8／9年	令和8年6月末民間在庫量	H	215～229
	<b>令和8年産主食用米等生産量</b>	<b>I</b>	<b>711</b>
	令和8／9年主食用米等供給量計	J=H+I	926～939
	令和8／9年主食用米等需要量	K	694～711
	令和9年6月末民間在庫量	L=J-K	215～245

○ 「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（10月公表）」に基づく愛知県の主食用米等生産面積の検証

1 推定需要量（県産）の推計

	年度	総人口 （愛知県） （千人）	一人当たり 消費量 （kg）（精米）	需要量（t） （①×②）	インバウンド 需要量※ （愛知）（t）	総需要量 精米ベース（t） （③+④）	精米歩留	総需要量 玄米ベース（t） （⑤÷⑥）	県産シェア （％）	推定需要量 （県産）（t） （推計⑦×⑧）
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
上位	2025	7,454	50.7	377,908	4,148	382,056	0.886	431,214	30.18	130,140
下位		7,454	50.2	374,181	4,148	378,329	0.896	422,242	30.18	127,433
上位	2026	7,454	50.8	378,653	4,488	383,141	0.886	432,439	30.18	<b>130,510</b>
下位		7,454	50.2	374,181	4,488	378,669	0.896	422,622	30.18	<b>127,547</b>

※④は国のインバウンド需要量に都道府県別訪問率の県シェアを乗じたもの。

2 主食用米等生産面積の推計（基本指針を参考に需要量＝生産量で算出）

	2026年 推定需要量 （県産）（t）	主食用米 等生産量（t） （=⑨）	単収 （7中5） （kg/10a）	主食用米等 生産面積（ha） （⑩÷⑪）
	⑨	⑩	⑪	⑫
上位	130,510	130,510	496.2	<b>26,302</b>
下位	127,547	127,547	496.2	<b>25,705</b>

3 結果

「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（10月公表）」に基づき愛知県の主食用米等生産面積を検証した結果、**9月に設定した目安と同面積**とする。  
**2026年産米の生産目標の目安(面積)：26,000 ha**

## 2026(令和8)年産米の地域農業再生協議会別の生産目標の目安(面積)

地域農業再生協議会名	市町村	2026(令和8)年産米 生産目標の目安(面積)	県内占有率
県 計		26,000 <sup>ha</sup>	100.0%
名古屋市地域農業再生協議会	名古屋市	480	1.8%
一宮市地域農政推進協議会	一宮市	906	3.5%
瀬戸市地域農業再生協議会	瀬戸市	131	0.5%
春日井市地域農業再生協議会	春日井市	208	0.8%
犬山市地域農業再生協議会	犬山市	392	1.5%
江南市農業再生協議会	江南市	65	0.3%
小牧市地域農業再生協議会	小牧市	296	1.1%
稲沢市農業再生協議会	稲沢市	994	3.8%
尾張旭市地域農業再生協議会	尾張旭市	36	0.1%
岩倉市地域農業再生協議会	岩倉市	100	0.4%
豊明市地域農業再生協議会	豊明市	221	0.9%
日進市地域農業再生協議会	日進市	250	1.0%
長久手市農業再生協議会	長久手市	85	0.3%
東郷町地域農業再生協議会	東郷町	213	0.8%
西春日井地域農業再生協議会		265	1.0%
	清須市	75	0.3%
	北名古屋市	155	0.6%
	豊山町	35	0.1%
大口町地域農業再生協議会	大口町	179	0.7%
扶桑町地域農業再生協議会	扶桑町	62	0.2%
海部東地域農業再生協議会		668	2.6%
	津島市の一部	229	0.9%
	あま市	390	1.5%
	大治町	49	0.2%
あまそだち農業再生協議会		1,489	5.7%
	津島市の一部	212	0.8%
	愛西市	1,277	4.9%
海部南部地域農業再生協議会		1,723	6.6%
	弥富市	1,163	4.5%
	蟹江町	133	0.5%
	飛島村	427	1.6%

地域農業再生協議会名	市町村	2026(令和8)年産米 生産目標の目安(面積)	県内占有率
		ha	
知多地域農業再生協議会		2,335	9.0%
	半田市	274	1.1%
	常滑市	428	1.6%
	東海市	133	0.5%
	大府市	161	0.6%
	知多市	245	0.9%
	阿久比町	262	1.0%
	東浦町	300	1.2%
	南知多町	108	0.4%
岡崎幸田地域農業再生協議会	美浜町	294	1.1%
	武豊町	130	0.5%
		2,061	7.9%
	岡崎市	1,564	6.0%
	幸田町	497	1.9%
	碧南市	318	1.2%
刈谷市地域農業再生協議会	刈谷市	810	3.1%
安城市地域農業再生協議会	安城市	1,912	7.4%
西尾地域農業再生協議会	西尾市	2,175	8.4%
知立市地域農業再生協議会	知立市	267	1.0%
高浜市地域農業再生協議会	高浜市	141	0.5%
豊田市地域農業再生協議会	豊田市	2,803	10.8%
みよし市地域農業再生協議会	みよし市	273	1.1%
新城市地域農業再生協議会	新城市	989	3.8%
設楽町農業再生協議会	設楽町	224	0.9%
東栄町農業再生協議会	東栄町	33	0.1%
豊根村地域農業再生協議会	豊根村	19	0.1%
豊橋市地域農業再生協議会	豊橋市	1,313	5.1%
豊川市地域農業再生協議会	豊川市	777	3.0%
蒲郡市地域農業再生協議会	蒲郡市	34	0.1%
田原市地域農業再生協議会	田原市	753	2.9%

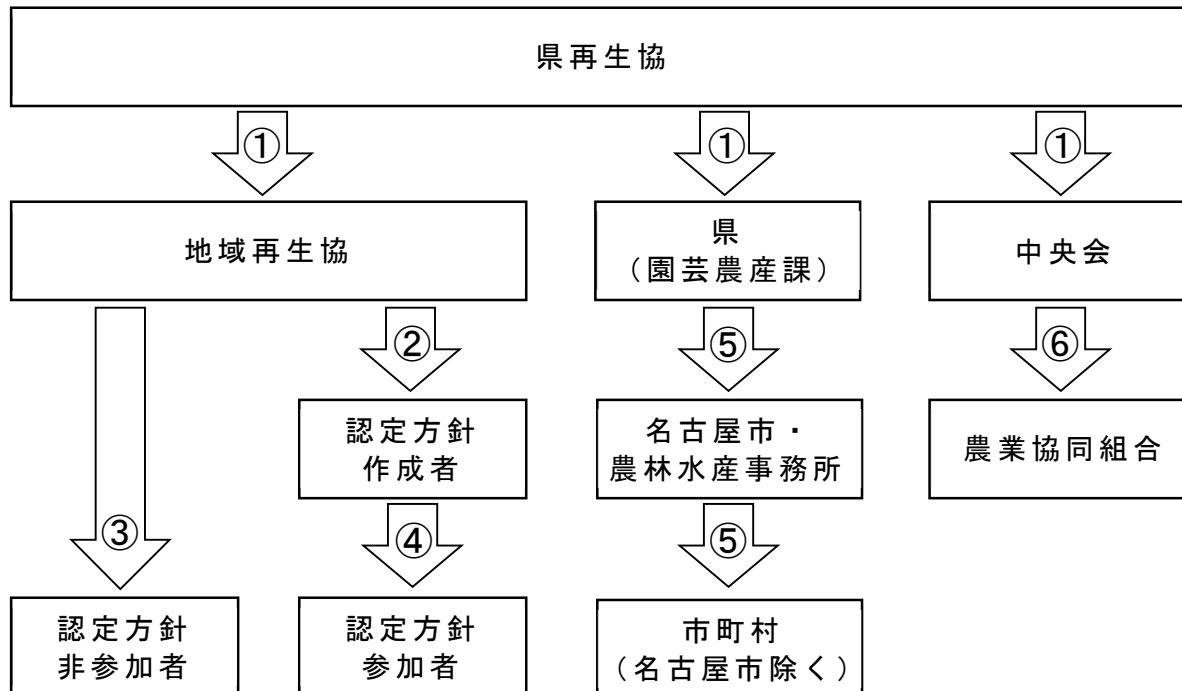


## 2 生産目標の目安の配分事務の流れ

### (1) 生産目標の目安の配分事務

- ① 愛知県農業再生協議会（以下「県再生協」という。）は、臨時総会で審議議決した“生産目標の目安”を地域農業再生協議会（以下「地域再生協」という。）、愛知県（以下「県」という。）、及び愛知県農業協同組合中央会（以下「中央会」という。）へ通知する。
- ② 地域再生協は、①の通知を受け、認定方針作成者に対して、配分方針の設定および生産目標の目安等の情報を提供する。
- ③ 地域再生協は、認定方針非参加農業者に対して生産目標の目安の配分を通知する。
- ④ 認定方針作成者は、認定方針参加者に対して生産目標の目安の配分を通知する。
- ⑤ 県は、①を市町村へ通知する。  
なお、名古屋市を除く市町村へは、県農林水産事務所農政課（以下「県農政課」という。）を経由することとする。
- ⑥ 中央会は、③を農業協同組合へ通知する。

#### 【イメージ図】



7 碧再生会第 号  
令和 8 年 1 月 2 3 日

認定方針作成者

あいち中央農業協同組合

代表理事組合長 渥 美 純 一 様

碧南市地域農業再生協議会

会長 小 池 友 妃 子

令和 8 年産米の認定方針作成者への生産目標の目安の配分について（通知）  
令和 7 年 1 2 月 1 6 日付け 7 愛再協（生）第 7 号にて通知された「令和 8 年  
産米の愛知県の生産目標の目安について」において、地域協議会別の令和 8 年  
産米の生産目標の目安が示されました。

つきましては、認定方針作成者への生産数量目標の目安の配分について下記  
のとおり通知しますので、需要に応じた米生産の円滑な推進に取り組んでいた  
だくようお願いいたします。

なお、生産目標の目安については、原則すべての認定方針参加者に配分して  
ください。

記

1 生産目標の目安（面積）

3 1 8 h a

2 令和8年度水田農業対策の取組について

(1) 生産調整の見込み

米の生産目標の目安 A :	318.0 ha (注1)
---------------	---------------

(単位 : ha)

見込み  
(8月時点)

水稲作付率 % B	水稲作付面積 A×B=C	生 産 調 整 の 見 込 み						水田面積 C+H=I
		小麦、大豆等の作付				その他作付 G	作物作付等計 F+G=H	
		市内 D	市外(推定) E	市外内訳	計 D+E=F			
		小麦・大豆・飼料用米						
95.26	302.9		16.9	西尾市 9.6	97.5	25.1	122.6	425.5
		80.6 (83.2)		安城市 6.2				
				高浜市 1.1				

(注1) 令和7年産米の生産数量目標の目安については、県協議会から示された生産数量目標の目安(1,664t÷515kg/10a)とする。

(注2) ( ) 内の数値は入作を含む集団全体の面積。

結果

水稲作付率　％ B	水稲作付面積 A×B=C	生　産　調　整						水田面積 C+H=I
		小麦、大豆等の作付				その他作付 G	作物作付等計 F+G=H	
		市　内　D	市　外　E	市外内訳	計　D+E=F			
95.57	303.9	小麦・大豆・飼料用米	13.8	西尾市　9.9	95.5	25.8	121.3	425.2
		81.7（84.2）		安城市　3.7				
				高浜市　0.2				

(注) ( ) 内の数値は入作を含む集団全体の面積。

(2) 小麦、大豆及び飼料用米の作付の市内地区配分

(単位 : ha)

地区	基礎面積	構成比 %	令和8年度配分面積
川口・前浜	58.8	24.41	19.5 (19.6)
伏見屋・北浦	62.8	26.07	18.7 (19.8)
西 端	119.3	49.52	42.3 (43.7)
計	240.9	100.00	80.6 (83.2)

(注) ( ) 内の数値は入作を含む集団全体の面積。

(単位 : ha)

結果
18.8 (18.9)
18.7 (19.8)
41.8 (43.1)
79.3 (81.8) 市内分
2.4 (2.4) 市外分
81.7 (84.2) 合計

自己保全管理 0.3ha (1名 : 3筆)

集団転作不参加 1.1ha (2名 : 8筆)

#### (4) 交付金配分予定

令和8年度の交付金の配分については、国、県からの配分が未だ決定していないため、耕作地権者への配分額は今年度と同等とするが、近年の状況から徐々に減額されることが予想され、県からの配分枠決定後、現状の単価が維持できない場合は、耕作地権者分及びオペレーター分の単価の見直しを行う。

配分額(産地交付金を含んだ見込配分額)

(10a当り)

作付の内容	総額		対象者	
			耕作地権者	オペレーター
小麦(大豆)のみ	7年度見込み	43,737円	22,000円	21,737円
	8年度予定案	40,000円	22,000円	18,000円
小麦、大豆(飼料用米)の二毛作	7年度見込み	55,737円	27,000円	28,737円
	8年度予定案	50,000円	27,000円	23,000円

※令和7年度産地交付金の予算配分がなされていないため、総額は仮計算による。